

嘉徳海岸侵食対策工事に関する説明会

1 日時

令和8年9月17日（木）午後7時～午後8時

2 場所

嘉徳集落集会所

3 会次第

- (1) 開会の挨拶
- (2) 令和8年度に実施する護岸工事の内容等について
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

嘉徳海岸海岸侵食対策事業

令和8年度に実施する 護岸工事の内容について

瀬戸内事務所建設課

令和8年9月17日



侵食対策工事（護岸工事）の計画について

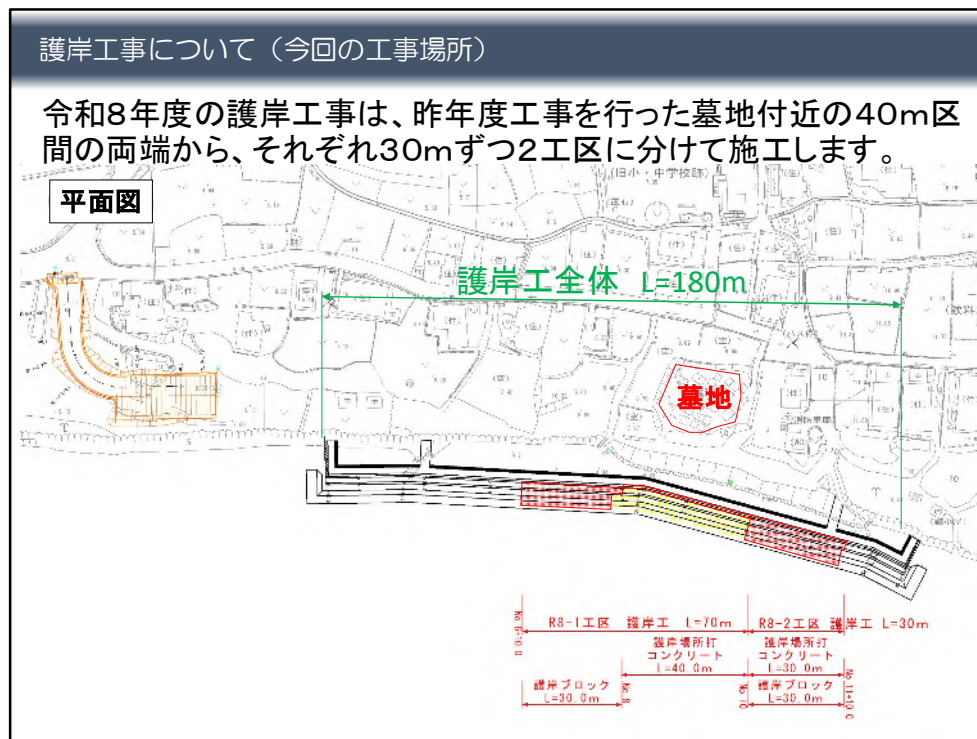
「嘉徳海岸侵食対策事業検討委員会」で示された整備方針に基づき、背後地が住宅や墓地に利用され、砂丘の侵食幅が大きかった180mを護岸の整備区間としています。

護岸の全面を砂で覆い、アダン等の植物を植栽することによって、動植物の生態を保全するとともに、景観の保全を図ることとしています。



嘉徳海岸の侵食対策事業は、検討委員会で示された整備方針に基づき、延長180m区間の護岸整備を行う計画としています。

護岸の全面を砂で覆い、アダンなどを植栽することによって動植物の生態を保全するとともに、景観の保全を図ることとしています。

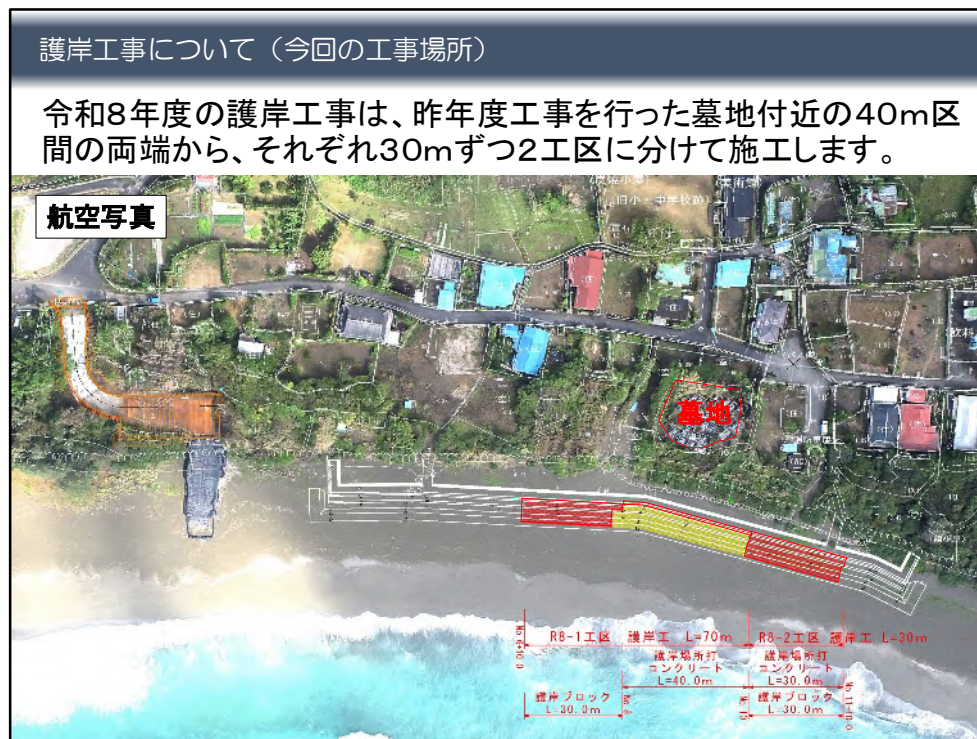


令和8年度の工事の施工範囲について説明します。

令和7年度施工した墓地付近の40m区間の両端からそれぞれ2工区に分けて工事を行います。

R8-1工区 護岸工 L=70.0m (株)伊東組
No.6+10～No.10

R8-2工区 護岸工 L=30.0m 奄美興発(株)
No.10～No11+10.0

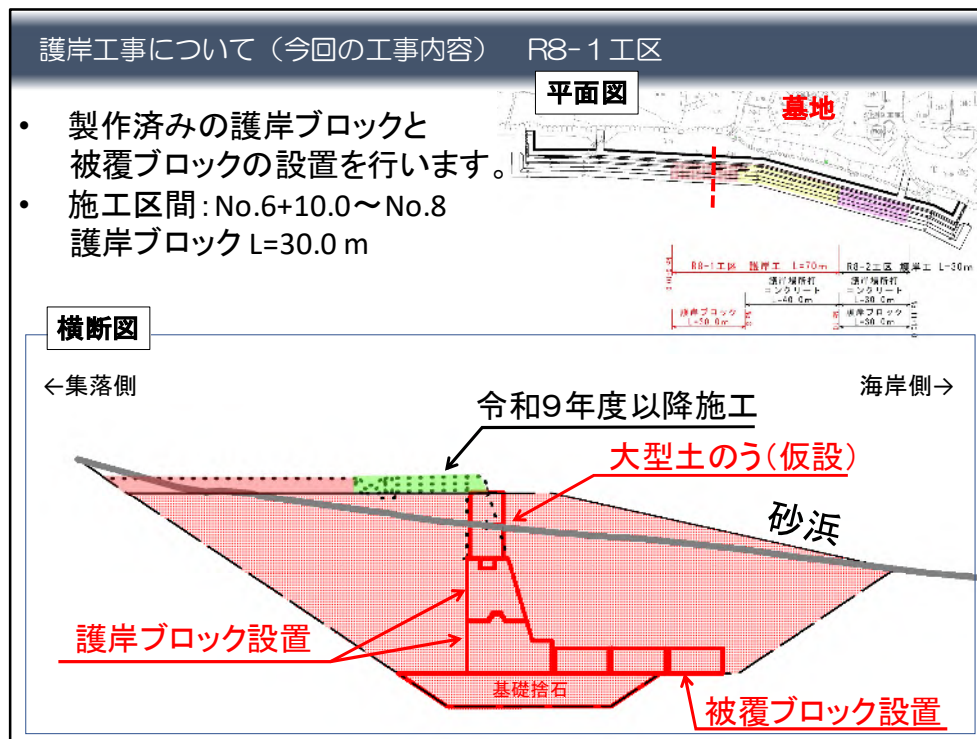


航空写真を重ね合わせた図面になります。

赤色で着色した箇所が今年度の工事の範囲になります。

R8-1工区 護岸工 L=70.0m (株)伊東組
No.6+10～No.10

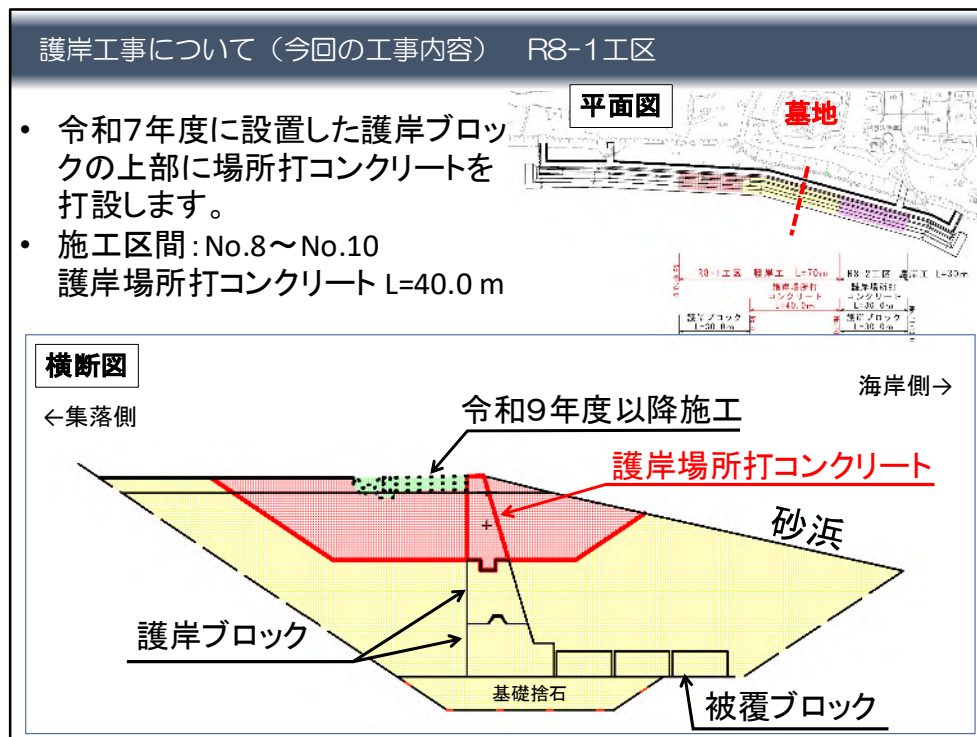
R8-2工区 護岸工 L=30.0m 奄美興発(株)
No.10～No11+10.0



今回の工事は、3断面に分けて施工内容が異なることから、それぞれの工事内容を説明します。

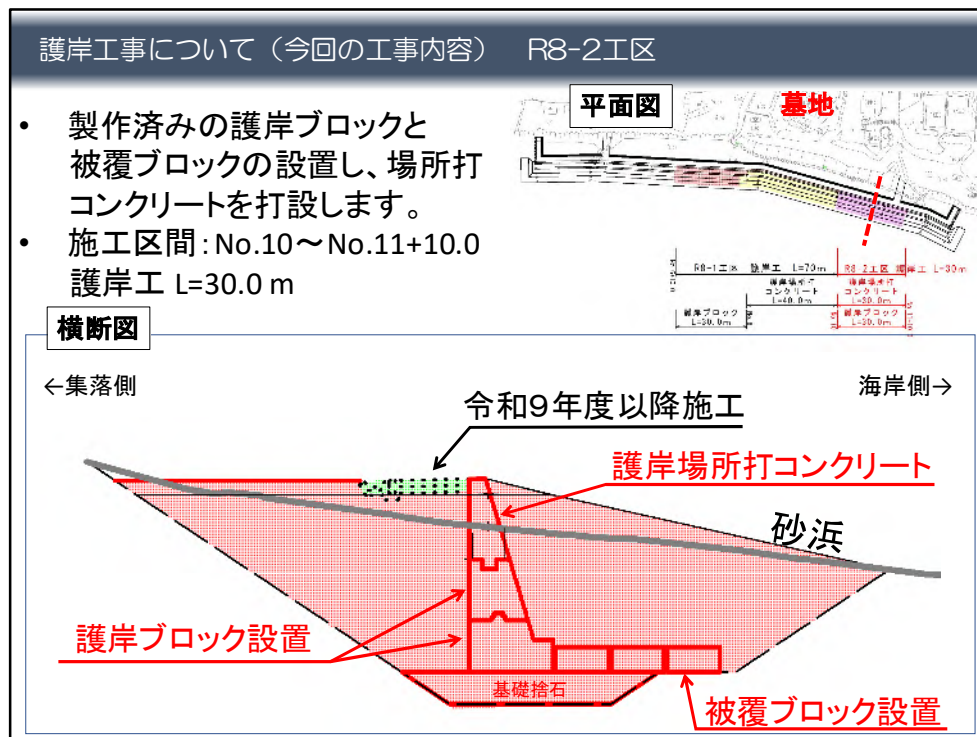
1 工区30m区間について説明します。
(平面図の赤着色箇所・No.6+10～No.8)

施工内容は令和7年度の工事と同じく、護岸ブロックを2段据え付けて、その上に大型土のうを2段積み、最後に砂で覆う計画としています。



1 工区40m区間について説明します。
（平面図の黄着色箇所・No.8～No.10）

令和7年度、砂で覆い大型土のうを設置していた箇所に、
護岸場所打コンクリートを施工します。



2工区30m区間について、説明します。
（平面図のピンク着色箇所・No.10～No11+10.0）

護岸ブロックを2段据え付けた後に、護岸場所打ちコンクリートまで施工する計画としています。

今回の工事により、全体延長180mのうち100mの施工を行い、概ね6割程度の工事進捗となります。



工事の施工手順について説明します。

始めに、仮設備関係の設置を行います。

①番目に立ち入り防止柵のトラロープの設置を行います。
青色の線が囲む範囲のイメージになります。

※工事区域内は重機等の往来があり危険であることから、
工事着手前にロープなどで囲い、工事関係者以外の立ち
入りを禁止します。

さらに、②立ち入り防止柵の設置や、③オカヤドカリの
進入防止柵の設置を行い、工事車両の進入のために、④
敷鉄板の設置を行います。

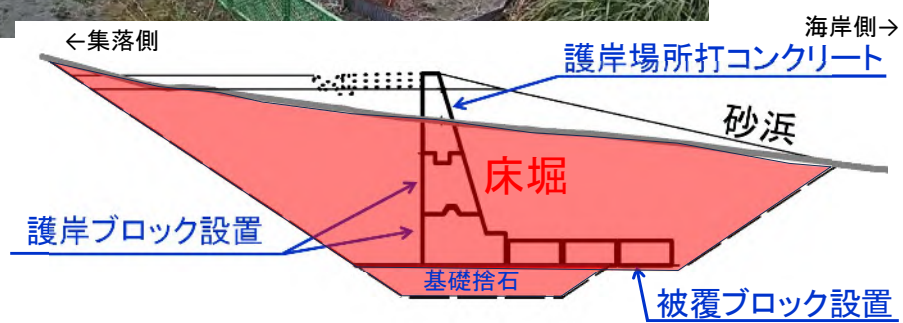
護岸工事について（施工方法）【床堀作業開始】



仮設備関係の設置後、床堀作業を開始します。

（写真は、令和 7 年度の施工状況です）

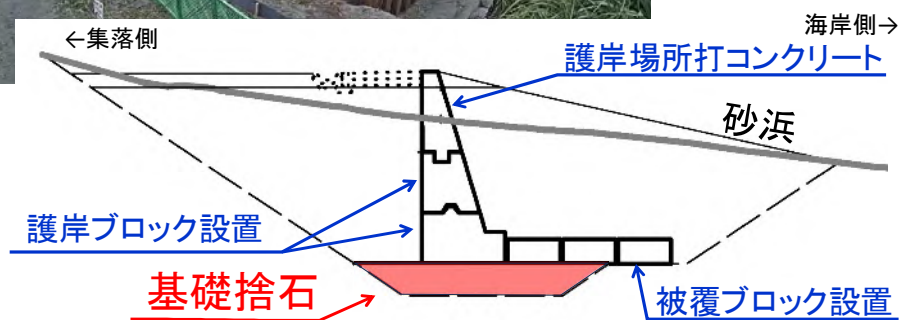
護岸工事について（施工方法）【床堀作業】



床堀作業の状況になります。

（床堀深さ 5 ～ 6 m程度）

護岸工事について（施工方法）【基礎捨石投入】



床堀完了後、基礎捨石を投入し、敷並べ作業を行います。

（200kgの石 ・ 高さ1.0m）



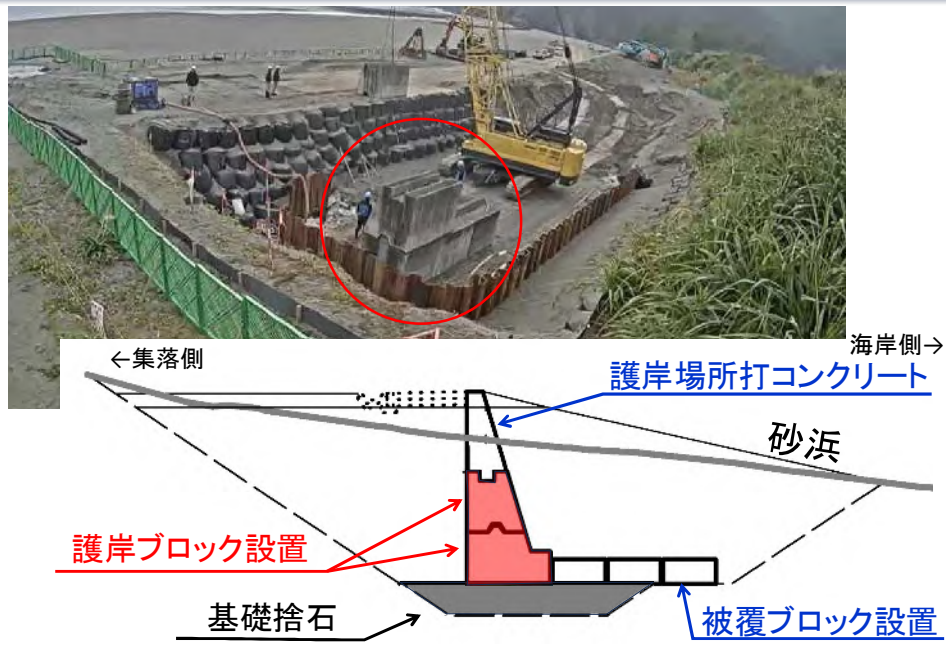
ブロックの運搬について説明します。

ブロック仮置き場から嘉徳海岸までトレーラーで運搬を行います。

今回の工事では、仮置き場AとBの2箇所から運搬する計画としています。

運搬中は、皆様方にご迷惑をおかけすることになりますが、ブロック置き場の入り口と、工事用道路の入り口に誘導員を配置し、安全第一で運搬作業を行いますので、ご協力をお願いいたします。

護岸工事について（施工方法）【護岸本体ブロック据付】



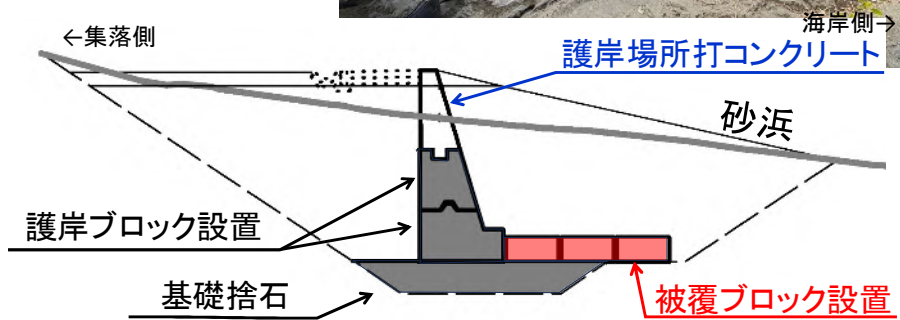
運搬した護岸ブロックをクレーンを使って上下2段設置します。

上段護岸ブロック高さ 1.9m

下段護岸ブロック高さ 1.6m

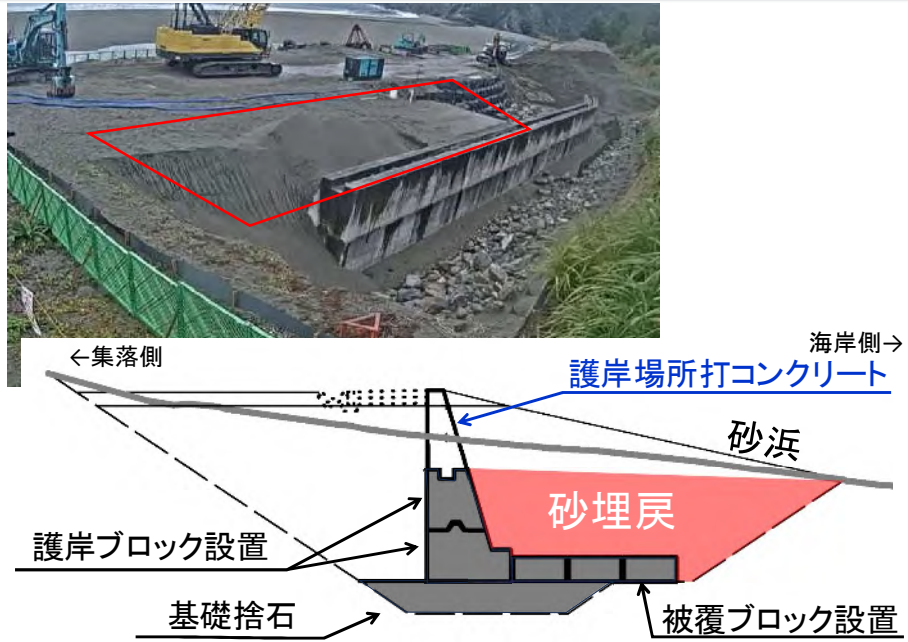
合計 3.5m

護岸工事について（施工方法）【被覆ブロック据付】



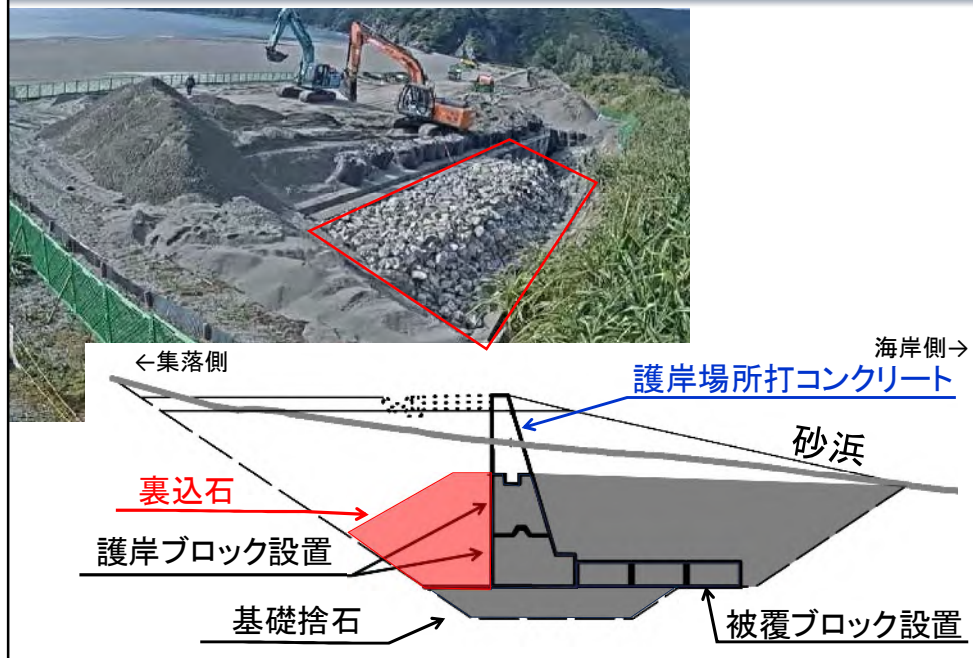
設置した護岸ブロックの前面に、被覆ブロックを3列据え付けます。

護岸工事について（施工方法）【ブロック据付完了・前面の砂埋戻】

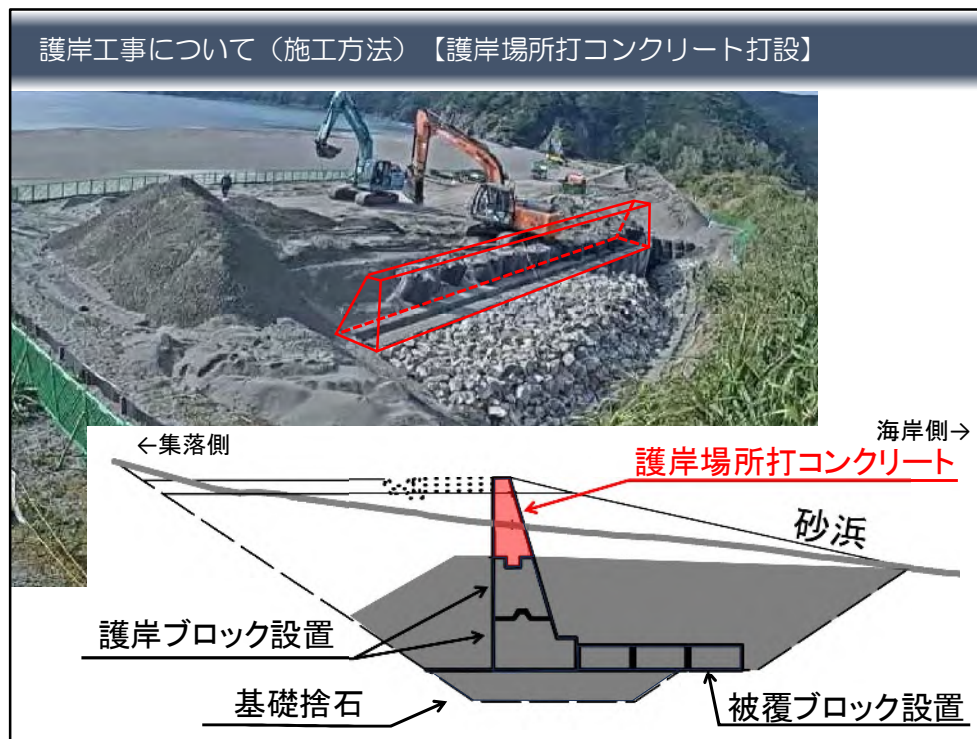


被覆ブロックを据え付けた後に、前面を砂で埋戻します。

護岸工事について（施工方法）【裏込石投入】



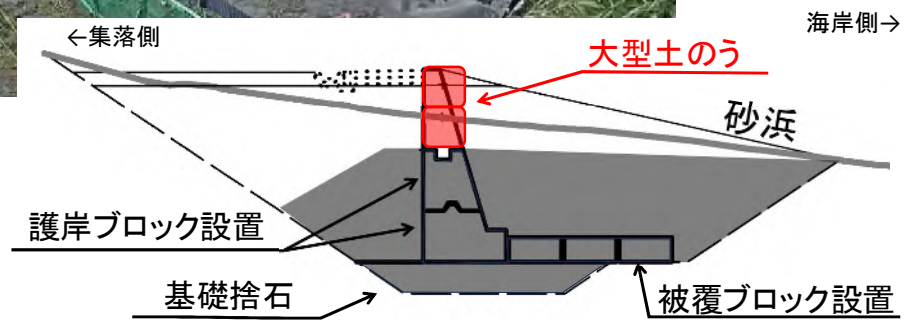
護岸ブロックの背面に、裏込石を投入し敷並べます。



裏込石を敷並べたあと、護岸場所打コンクリートを打設します。

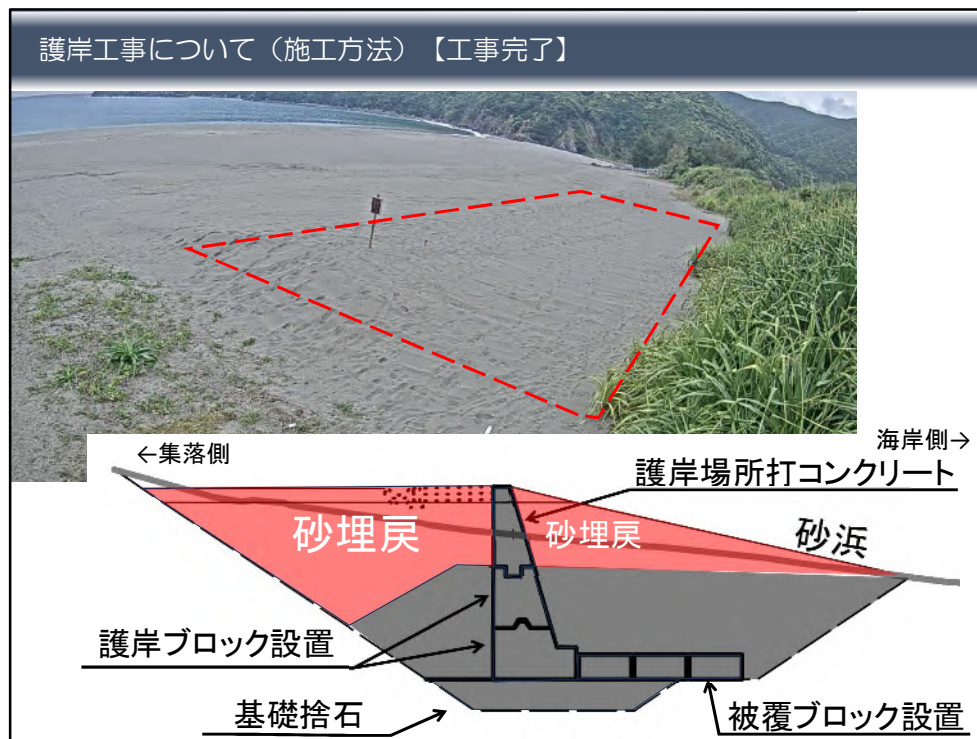
（延長70.0m ・ 高さ2.5m ・ No.8～No11+10.0）

護岸工事について（施工方法）【仮設大型土のう設置（暫定施工区間）】



護岸場所打コンクリートの打設を行わない箇所は、令和7年度と同様に護岸ブロックを据え付けた後、大型土のうを2段据え付け、砂で埋め戻します。

（施工延長30.0m ・ No.6+10～No.8）



工事完了後はすべて砂で覆い工事着手前と同様の景観が保たれます。

砂の被覆高さは、護岸場所打コンクリートを施工後の高さと同程度であり、完成後の護岸の姿をおおむねイメージできる仕上がりとなります。

さらに、今後は砂で覆われた部分にアダンの植栽を行うことにより、環境および景観に配慮した護岸整備を行います。

天然記念物「オカヤドカリ類」の保全対策について

嘉徳海岸では、工事箇所及びその周辺に国指定の天然記念物「オカヤドカリ」の生息が多数確認されているため、工事の実施にあたっては、オカヤドカリ類への影響を回避・低減するために、文化財保護法に基づく許可を得た保全対策を実施の上、工事を行うこととしています。

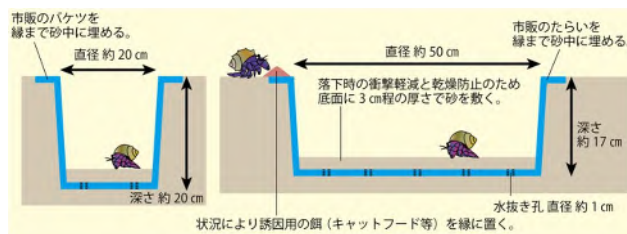
■ 進入防止柵の設置

プラスチック板（農業資材の畦シート）などのオカヤドカリ類が登れない平滑な素材を用いて、工事区域の外周を閉め切る。



■ トラップによる捕獲と個体の移動

進入防止柵内にトラップを仕掛けて柵内のオカヤドカリ類を捕獲する。トラップは市販のプラスチックバケツ等を砂浜に埋めた「落とし穴方式」とする。底面には、水が抜けるよう穴を開けて中に薄く砂を敷いておく。また、バケツ等を埋める際には、縁に段差ができないよう留意する。



工事の実施にあたっては、オカヤドカリ類への影響を回避・低減するために、文化財保護法に基づく許可を得た保全対策を実施します。

工事施工前に進入防止柵を設置し、工事区間内へのオカヤドカリ類の進入を防止します。

また、工事区間内に取り残されたオカヤドカリ類については、トラップによる捕獲を行い保護します。

ウミガメへの配慮について

ウミガメが上陸し産卵する時期（5月～8月）においては、海浜部での工事は中断します。
（これ以外の時期についても影響がある期間については工事を中断します。）

【令和8年度の上陸・産卵の状況】

上陸数：15回

うち産卵数：2回（※うち工事区間内の産卵1回：R8.6.2）

今年度最後に確認した、ウミガメの上陸日：令和8年9月2日（水）

※上陸のみ2回



令和8年6月2日上陸・産卵



①令和8年9月2日上陸のみ



②令和8年9月2日上陸のみ

ウミガメへの配慮について、説明します。

5月から8月をウミガメ上陸・産卵の配慮期間として原則工事を中止することとしております。

令和8年度の上陸回数は15回、うち今年の産卵は2回確認しています。

なお、2回の産卵のうち1回は今回工事の工事区間でありましたが、産卵より一定期間が経過していることから、今回の工事に支障は無いことを確認しています。

今後の予定について

護岸本体工事（海岸部）のスケジュール（予定）

- ・ 令和8年9月下旬 工事着手
- ・ 令和9年3月下旬 完成予定

地元集落、瀬戸内町、瀬戸内町議会から早期完成の強い要望をいただいていることから、住民の生命や財産を守るため、工事の安全かつ円滑な遂行を確保しながら早期に整備を進めます。

工事へのご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ 工事の施工予定につきましては、
掲示板でお知らせします。
- ・ 工事の進捗状況につきましては、
県のHPでお知らせします。

月日	曜	作業予定
9/14	月	準備工 仮設工
9/15	火	〃
9/16	水	〃
9/17	木	〃
9/18	金	〃
9/19	土	休工
9/20	日	休工

工事のスケジュールについて説明します。

9月下旬より仮設工事を行い順次工事を進めます。
工事の完了は、令和9年3月下旬を予定しています。

工事の進捗状況につきましては、掲示板でお知らせするとともに、鹿児島県のHPでも随時お知らせいたします。

住民の生命や財産を守り、安全・安心な生活を実現するため、工事の早期完成に努めます。

安全かつ円滑に工事が進むよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。